資料3

建材・住設物流研究会附帯作業調査について

一般社団法人国際物流総合研究所





「悪質荷主の罰則強化」 (2018年1月26日 日経新聞)

「ドライバー不足」「働き方改革」、世論だけでなく 経済産業省、国土交通省もその対策に力を入れ 始めた。

ドライバーへの負荷低減について、企業各社の 個別対応、努力には限界がある。



「営業」「開発」については健全な競争環境を保 ちながら、「物流」に関しては、企業の垣根を越え、 建材・住設メーカーとして共に対応しなければ、時 代の要求に応えられない。

2018年 第一期 建材・住設物流研究会活動内容について



<定例会>



- ✓ 各社の物流に関わる組織
- ✓ 建築現場納品時の課題
- ✓ 納品時のオプションメニュー
- ✓ 持ち帰りの理由要因
- ✓ 配送時のステータス情報
- ✓ 経産省・国交省の動向

毎回様々な切り口で各社の情報を共有・議論

<物流センター見学>



各社の代表的な物流センターを見学

<分科会活動>



- ✓ 各社製品別物流フロー、取引条件
- ✓ 現場入れ・店入れ時の物流フローで用いられる用語
- ✓ 現場入れ・店入れ時の車種指定(標準車の定義)
- ✓ 現場入れ・店入れ時の時間指定について
- ✓ そのほか取引条件における用語

各社が用いている用語・取引条件を定義 時間・作業・車種についての現状を整理



第1期 活動報告書



定例会

【対象】全参加企業 【運営】座長・副座長を軸に事務局が フォローアップ。 【役割】分科会活動を含めた 全体活動の方針決定。 研究テーマの選定・ 承認。

事務局

キッチンバス分科会

【テーマ例】キッチン・バス分野における 物流ガイドラインの策定。

建材分科会

【テーマ例】建材分野における物流ガイドラインの策定。

共通分科会

【テーマ】配送情報、パレット管理情報、 BCP ガイドライン など、全社共通事 案の議論・研究。



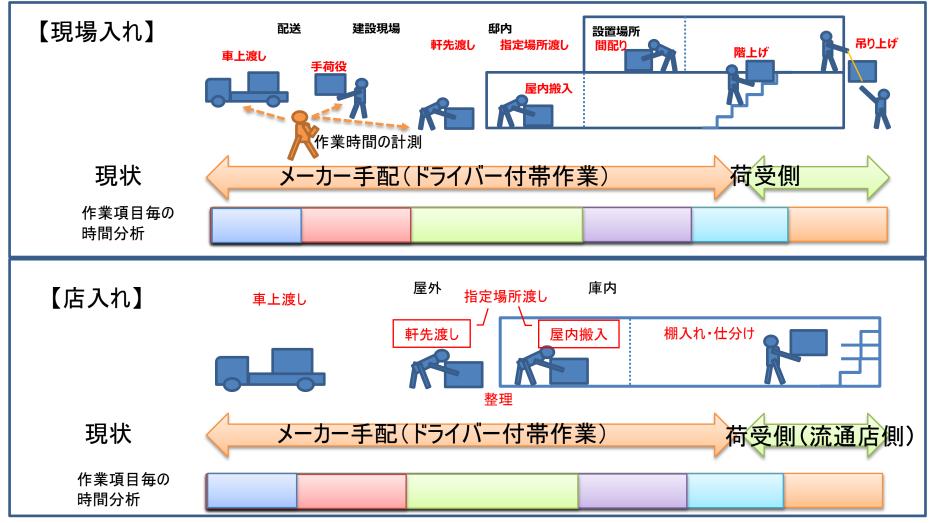
2019年 建材・住設物流研究会 付帯作業調査について

2019年 11月 29日

一般社団法人 国際物流総合研究所

附帯作業調査のイメージ図





目的:研究会ガイドラインに対する現状の乖離を調査 実際のドライバーがおこなっている作業項目毎の時間を調査する

・輸送・作業の効率化



<u>【目的】</u>

納品ガイドラインに対する現状の乖離を調査
メーカー納品物流+流通店物流における 付帯作業の負荷実態を項目毎に調査(計測)

